

## 板橋区長様

### T氏による動物虐待を即時、止めさせることを求める署名

#### 【T氏の動物虐待の実態】

- 1 板橋区（現住所記載）において、動物愛護法、狂犬病予防法を無視し、沢山の頭数の犬を劣悪な環境で飼育している。
- 2 いのちの尊厳など考えることもない、無責任な繁殖、子犬の放棄、虐待としか言えない。餓死寸前の犬の放置などの行為を繰り返している。
- 3 以前は、猫をエサとして犬に与えていたため、時折脱走した犬は、外で狩猟しながら猫を捕獲して敷地内に帰る犬がいる。紀州犬などの大型犬の脱走は恐怖、そのもの。
- 4 建物内にも犬がいるが、敷地内ではあるが、外に出されている犬は放し飼いの状態。
- 5 T氏が不要犬と判断した犬が出たり、新たに産まれたりすると、動物福祉有志に圧力をかけて引き取らせる。
- 6 十分な給餌がされていないため、極端に痩せている犬や、大怪我をしている犬、病気の犬などを知りつつ放置している。
- 7 15頭前後、それ以上かもしれない吠え声による騒音及び臭いは、近隣の住民にとって耐え難いものになっている。

#### 【T氏への要望】

- 1 即時、適正な飼育頭数にして、避妊去勢の措置をとること。
- 2 虐待行為をやめること。
- 3 上記のことができないのなら、即時、現在所有している犬の飼育権利を放棄すること。  
(有志が引取りを希望した場合には、即時引き渡す事)
- 4 今後、新しい犬や他の動物を譲り受けるとか、新規に購入しないこと。

私達は、T氏の犬の虐待としか言いようのない飼育状況、心痛む心身共に傷ついた犬を見ることにより、多大な苦痛を受けています。受忍限度をはるかに超えるものです。

裁量権行使による現行法の枠を超えた、介入、指導をお願い致します。

また、動物愛護法の改定の際、より具体的な表現で、より強制力のあるものへと改善されるように、お願い致します。

上記、趣旨に賛同される方の署名をお願い致します。

尚、この署名用紙は警察署、板橋区長 都知事 環境大臣にコピーを送付することもあります。

住所は、“同上”“ ”で略さず、都道府県名からご記入ください。

氏 名	住 所

集約者 アスカ'ズ アイ アソウスイエイション